

JA広島北部 REPORT
2020 上半期
ディスクロージャー誌

大切にします 緑と心…

広島北部農業協同組合

ＪＡ広島北部 半期開示情報

(令和２年４月１日～令和２年９月３０日)

1 あいさつ

管内農業、ＪＡを取り巻く環境は、農家の減少や高齢化、後継者不足、農産物の価格低迷など、依然厳しい状況にあり、ＪＡの事業においても取扱高の減少、信用事業をめぐる運用環境の好転が見込めず、収支が年々下がってきております。

このような中、令和２年度は自己改革の基本目標である、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を支える持続可能なＪＡ経営の基盤確立と財務体質を強化するため、事業の効率化と収支改善の取り組みを加速化させてまいります。

さらに、組合員組織や協同活動等の活性化により、組合運営の参加・参画の場をつくるとともに、職員が事業活動を通じて組合員の声を聴き、声に応えていく「出向いて」「聴いて」「実践」を実行してまいります。

上期は営農事業においては、「第４次中期営農振興計画」の２年度目として引き続き持続可能な農業の実現に向け、「収入確保策」「コスト削減策」「担い手確保策」「農業・地域振興策」の４つの柱を基本として実践し、担い手の支援・育成、農業経営の安定化に努めました。

一方、地域活性化への取り組みについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、各支店での「支店ふれあいまつり」、ＪＡ女性部の「きらきら女性大学」「さんさん女性大学」及び「あぐりキッズスクール」は残念ながら開催できませんでした。

このような状況の中ではありますが、今後もＪＡ広島北部は、食・農・協同に関する活動を通じて地域貢献に努め、組合員・地域に信頼されるＪＡを目指してまいりますので、皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和２年１１月

広島北部農業協同組合

代表理事組合長 小田 良則

2 文化的・社会的貢献に関する事項

J A広島北部では、営農指導や販売事業をはじめ、購買事業、信用事業、共済事業、福祉介護事業、^{きょういく}共育文化活動など、各事業を通じて組合員の皆さまへの奉仕はもとより、地域農業の発展や豊かな地域社会の実現に貢献するため、次のようなさまざまな活動に取り組んでいます。

(1) 農業振興等への貢献

- ①就農塾・農業塾を開催し、定年退職者や新規就農者などこれから本格的に農業に取り組まれる方が、農業の基礎知識や栽培技術を習得されています。
- ②学校教育を通して農業や食への理解を得ることは重要で、小学生や中学生、高校生の職場体験や農作業体験を積極的に受け入れるとともに、地産地消を掲げた学校給食センターへの食材提供と食農教育に取り組んでいます。
- ③将来の地域農業を担う人材育成のため「農業後継者育成支援事業」に取り組んでいます。

(2) 地域社会への貢献

- ①高齢者福祉活動では、居宅介護支援事業所の開設により総合的なサービス提供を行い、福祉介護事業での取り組みはもとより、助けあい組織「さくらの会」の活動や、介護職員の養成研修会を実施し地域福祉への貢献に努めています。
- ②組合員、利用者に安心・信頼できる葬祭事業を目指し、地域の風土や慣習を大切にするとともに、故人を偲ぶ気持ちを大切に、ご遺族への思いやりの心もち、真心のこもった葬儀の施行に努めています。

(3) 地域密着型金融への取組み

J A広島北部では、農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融機関として次の取り組みを進めています。

①農業者等の経営支援に関する態勢整備

- ・「担い手金融リーダー」を設置し、コンサルタント能力を活用した経営支援に取り組んでいます。
- ・人材育成研修を通じて「J Aバンク農業金融プランナー」資格取得に取り組んでいます。

②農業者等の経営支援に関する取組み

- ・金融円滑化にかかる基本的な方針に沿い、農業者等の経営特性や事業状況を 勘案しつつ、経営支援となるよう出来る限り柔軟な対応を他の金融機関と連携して取り組んでいます。

(4) 組合員・利用者との交流

- ① J Aまつりを開催し、多くの組合員との交流を図っています。スポーツイベントでは、ゴルフ大会・グラウンドゴルフ大会・少年野球大会・ゲートボール大会・囲碁将棋大会等を開き、組合員や地域住民等多くの方が参加されます。
- ② 農業への理解を深めていただく重要な取り組みとして消費者交流を開催しています。毎年、田植え交流会を実需者と地元生産者が一体となり実施しています。秋には稲刈り交流を行います。
- ③ 次世代の女性部リーダー育成をめざす女性大学の開講や、各支店に支店ふれあい委員会を設置し、地域性を活かした独自イベントを企画しています。教養講座の開催や地域行事・イベントなどへも積極的に参加し、組合員・地域との結びつきを深める活動を行っています。

例年は上記のとおり、幅広く組合員・利用者との交流イベントを開催しています。

しかしながら、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、これらの多くが開催できない状況となりました。

(5) 情報の発信

- ① 全地域へ広報誌「ほくほく通信」と「支店だより」を毎月発行しています。地域に密着した情報を提供するとともに、ホームページやテレビ・ラジオを通じて、J Aに関する情報、また「食」や「農」に関する情報などを発信し、農家組織、女性組織の活動等を紹介しています。また、日本農業新聞に積極的に送稿し、農業や暮らしに関する管内の情報を広く地域や管外への発信に努めています。

3 金融再生法開示債権（単体）

（単位：百万円）

債券区分 注1)	令和2年9月末	令和2年3月末	増 減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	116	145	▲ 29
危険債権	48	65	▲ 17
要管理債権	13	13	-
正常債権	16,378	20,087	▲ 3,708
合計	16,556	20,311	▲ 3,755

注1) 債権区分

1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、法的破綻等による経営破綻に陥っている債務者に対する債権であり、信用事業に係る総与信を対象としています。
2. 「危険債権」とは、経営破綻の状況にはないが、財政状況の悪化等により元本利息の回収ができない可能性の高い債権であり、信用事業に係る総与信を対象としています。
3. 「要管理債権」とは、3ヵ月以上延滞貸出債権および条件緩和貸出債権であり、貸出金のみを対象としています。
4. 「正常債権」とは、破産更生債権およびこれらに準ずる債権、危険債権、要管理債権以外の債権であり、信用事業に係る総与信を対象としています。
5. 「信用事業に係る総与信」とは、貸出金、貸付有価証券、外国為替、債務保証見返、信用未収利息、信用仮払金をいいます。

4 単体自己資本比率（国内基準適用）

令和2年9月末（見込み）	令和2年3月末
21.25%	21.87%

注) 「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」（平成18年3月28日金融庁・農林水産省告示第2号）の規定に基づいて自己資本比率を算定しています。

5 主要勘定の状況

（単位：百万円）

	令和2年9月末	令和2年3月末	令和元年9月末
貯 金	123,111	121,590	120,252
貸 出 金	16,547	20,302	18,400
預 け 金	103,740	99,069	99,038
有 価 証 券	2,504	2,516	2,557

注) 有価証券については、金融商品会計基準適用後の帳簿価額を記載しております。

6 有価証券時価情報

（単位：百万円）

	令和2年9月末			令和2年3月末		
	貸借対照表計上額	時価又は取得原価又は償却原価	差額	貸借対照表計上額	時価又は取得原価又は償却原価	差額
売 買 目 的	-	-	-	-	-	-
満 期 保 有 目 的	600	636	36	600	640	40
そ の 他	1,904	1,799	104	1,916	1,799	116
合 計	2,504			2,516		

注) 9月末の有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

7 財務諸表

■貸借対照表

(令和2年9月30日現在)

(単位：千円)

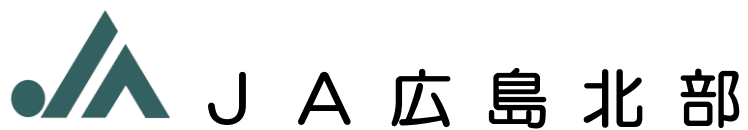
科 目		金 額		科 目		金 額	
(資 産 の 部)				(負 債 の 部)			
1	信用事業資産		123,507,261	1	信用事業負債		123,574,417
	(1) 現金	381,333			(1) 貯金	123,111,105	
	(2) 預金	103,740,533			(2) 譲渡性貯金	-	
	(3) 有価証券	2,504,202			(3) 借入金	32,124	
	(4) 貸出金	16,547,828			(4) その他信用事業負債	431,186	
	(5) その他信用事業資産	408,458		2	共済事業負債		582,885
	(6) 貸倒引当金	▲ 75,095			(1) 共済借入金	-	
2	共済事業資産		2,086		(2) 共済資金	347,671	
	(1) 共済貸付金	-			(3) その他共済事業負債	235,214	
	(2) 未収共済付加収入	593		3	経済事業負債		294,507
	(3) その他共済事業資産	1,492			(1) 経済事業未払金	269,850	
	(4) 貸倒引当金	-			(2) 経済受託債務	16,827	
3	経済事業資産		947,895		(3) その他経済事業負債	7,829	
	(1) 受取手形	643		4	設備借入金		95,820
	(2) 経済事業未収金	788,205		5	雑負債		965,812
	(3) 経済受託債権	32,440		6	諸引当金		142,167
	(4) 棚卸資産	142,228		7	繰延税金負債		23,112
	(5) その他経済事業資産	36,604		8	再評価に係る繰延税金負債		452,743
	(6) 貸倒引当金	▲ 52,227			負債の部合計		126,131,466
4	雑資産		874,266	(純 資 産 の 部)			
5	固定資産		6,069,730	1	組合員資本		10,127,331
	(1) 有形固定資産	6,059,076			(1) 出資金	2,376,709	
	(2) 無形固定資産	10,653			(2) 利益剰余金	7,750,622	
6	外部出資		5,720,284		(3) 処分未済持分	-	
7	前払年金費用		177,929	2	評価・換算差額等		1,040,657
8	繰延税金資産		-		純資産の部合計		11,167,988
	資産の部合計		137,299,455		負債及び純資産の部合計		137,299,455

■損益計算書

(令和2年4月1日～令和2年9月30日)

(単位：千円)

科 目		金 額		科 目		金 額	
1	事業総利益		1,354,221	(15)	指導事業収益	1,563	
	事業収益	3,770,137		(16)	指導事業費用	10,251	
	事業費用	3,675,693			指導事業収支差額		▲ 8,687
	(1) 信用事業収益	516,032		2	事業管理費		1,259,777
	(2) 信用事業費用	42,561			(1) 人件費	868,922	
	信用事業総利益		473,470		(2) 業務費	108,888	
	(3) 共済事業収益	395,301			(3) 諸税負担金	60,022	
	(4) 共済事業費用	27,491			(4) 施設費	83,782	
	共済事業総利益		367,809		(5) 減価償却費	133,904	
	(5) 購買事業収益	1,511,759			(6) その他管理費用	4,257	
	(6) 購買事業費用	1,305,503			事業利益		94,443
	購買事業総利益		206,255	3	事業外収益		53,495
	(7) 販売事業収益	893,922		4	事業外費用		2,798
	(8) 販売事業費用	838,475			経常利益		145,140
	販売事業総利益		55,446	5	特別利益		1,399
	(9) 保管事業収益	20,891		6	特別損失		5,000
	(10) 保管事業費用	6,611			税引前当期純利益		141,540
	保管事業総利益		14,279	7	法人税、住民税及び事業税		44,688
	(11) 加工事業収益	27,164		8	法人税等調整額		6,142
	(12) 加工事業費用	24,283			当期剰余金		90,708
	加工事業総利益		2,881		当期首繰越剰余金		720,312
	(13) 利用事業収益	417,403			土地再評価差額金取崩額		-
	(14) 利用事業費用	174,639			当期末処分剰余金		811,021
	利用事業総利益		242,764	5			



広島北部農業協同組合

〒731-0521 安芸高田市吉田町常友 1210

TEL 0826-42-1111 (代)

ホームページ <http://www.ja-hh.or.jp>